“ちばの魅力”を世界にアピール！ Spread the charm of Chiba around the world!

日本百選 of ちば

千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-11号

◆今回の日本百選

第8回 日本の庭園100選

本土寺 松戸市

日本百選 of ちば

日本の庭園100選とは?

「日本の庭園100選」は、世界的にも注目され評価の高い日本庭園に関して、全国からおすすめの庭園スポットを集めたものです。「CANON iMAGE GATEWAY」と、ぴあ編集チームが選出した100庭園が、関連情報とともにまとめられています。

県内では、「本土寺」のほか、千葉市美浜区にある「美浜園(幕張海浜公園内)」が選定されています。

▲6月には、紫陽花と一緒に楽しめる花菖蒲が咲く。

「あじさい寺、花の寺」本土寺が日本の庭園100選に。

本土寺
執事長 大野 要修さん

「長谷山本土寺(ちょうこくさん)」は、別名「四季の寺」と親しまれている由緒ある寺です。日蓮宗の中心寺院の一つで、鎌倉時代の建治3年(1277年)、日蓮上人の弟子である日朗上人(にちろうじょうにん)を導師として招き開堂したのが始まりと言われています。鎌倉の長興山妙本寺(ちょうこうさんみょうほんじ)、東京池上の長栄山本門寺(ちょうえいざんほんもんじ)と並び、日朗上人にゆかりの深い「朗門の三長三本(ろうもんさんちょうさんぼん)」と称され、宗門屈指の大山です。

もともと源氏の名門平賀家の屋敷跡であったとされる「日本の庭園100選」にふさわしい風情を感じる境内には、歴史的な建造物を囲むように花や樹が植えられ、四季を通して様々な美しい表情を見せてくれることから「あじさい寺、花の寺」としても親しまれています。

3月の下旬から4月の上旬にかけては枝垂れ桜、ソメイヨシノ、八重桜などの桜、6月上旬には花菖蒲。そして6月下旬に向けては10種類以上の紫陽花が境内中に咲き渡り、その数は50,000本以上に及びます。また11月の紅葉も見事で、およそ1,500本ある「山もみじ」「大盃」「秋山紅」などが本土寺を紅く彩ります。

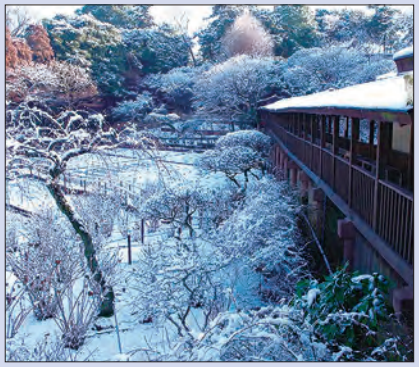
特に、紫陽花の季節には、毎年約35,000人もの人が訪れ、その見事な風景を楽しんでいます。

皆さまも、四季の美しい風景を心安らかにご観覧ください。

▲「春」五重塔前に咲く満開の桜が圧巻

▲「初夏」境内全体が紫陽花色に染まる

▲「秋」五重塔前を深紅の紅葉と黄金の銀杏が彩る



▲「冬」雪に覆われた境内が幻想的

▲平成3年(1991年)に、日像菩薩(にちぞうぼさつ)六百五十遠忌記念として建立された「五重塔」。

彩り豊かな本土寺境内を散策。

JR常磐線「北小金駅」から北方向に進み、松と杉の並木が続く本土寺参道を抜け正面にある朱色の「仁王門」をくぐり境内へ。きれいに整備された日本庭園の脇にある受付から奥に進むと、左手には圧倒的な存在感で美しい形の「五重塔」が目に飛び込んできます。さらに進み階段を上れば、慶安4年(1651年)に造立されたと記録されている神々しい佇まいの「本堂」があります。本堂横の通路を道標に従って進むと、毎年6月下旬頃には鮮やかに彩る紫陽花の庭園が広がります。庭園の右手奥には宝物殿(ほうぶつでん)があり、国の重要文化財である日蓮直筆の書状類や県指定有形文化財の「本土寺大過去帳」など、貴重な中世史資料が数多く所蔵されています(外観のみ見学可)。宝物殿を過ぎ、緩やかな坂道を下ると花菖蒲の庭園です。花菖蒲の庭園が一望できる「乳出の御霊水」付近から、像師堂、弁天堂を拝観し、「瑞鳳門(ずいほうもん)」をくぐると左右に紫陽花の庭園を再び観ることができます。

▲慶安年間(1648年から1651年)に建築された「仁王門」

国の重要文化財や県の指定有形文化財がある「本土寺」

▲本堂【間口八間(約14.5m)、奥行十間(約18m)】

▲文政四年(1821年)に建立された「瑞鳳門(ずいほうもん)」

▲貴重な文化財などが収められている「宝物殿」

▲弁天池の中央の小島の厨子には弁財天が祀られている緑豊かな「弁天堂」。

▲「乳出の御霊水」は、日像上人がお生まれになったとき、清水が湧き出て、それを産湯として使ったとされ「日像菩薩誕生水」とも言われています。

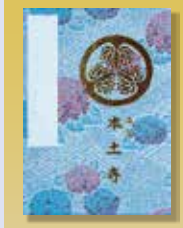
▲「像師堂」は、京都に日蓮宗を広めた日像上人の「日像菩薩像(にちぞうぼさつぞう)」が祀られています。「日像菩薩誕生水」と合わせて「子安乳出の日像様」として信仰を集め、最盛期には参道まで祈願者の列をなしたと伝えられています。

●拝観時間／ 8:00 ～ 17:00(最終入場 16:30) ※年中無休
●参拝料／大人(中学生以上)500円、小学生以下無料
※参拝料は、桜の花が咲く3月～4月、紫陽花・花菖蒲が見頃の6月、紅葉が見頃の11月のみで、それ以外は無料開放しています。
●境内に駐車場は無いので、参道の有料駐車場をご利用するか、公共の交通機関をご利用ください。(JR常磐線北小金下車、徒歩約15分)

●問い合わせ／**日蓮宗本山 長谷山(ちょうこくさん)本土寺** 松戸市平賀63 TEL.047-346-2121

紫陽花柄などの「御朱印帳」

◎3種類の御朱印帳



▲紫陽花柄

▲紅葉柄

▲紺色

▲御朱印

▲御首題

本土寺にはオリジナルの御朱印帳が用意されています。本土寺らしい紫陽花柄や紅葉柄がデザインされたものと、紺ベースに本土寺と金で箔押しされたものなど全3種類。本土寺の寺務所で販売しています。

お値段は御朱印帳が各1,000円で、御朱印料・御首題料は各300円です。

日本の歴史公園100選に選定
戸定（とじょう）が丘歴史公園

▲国指定重要文化財の戸定邸と国指定名勝でもある美しい庭園

本誌第1回で紹介した千葉市の「加曽利貝塚縄文遺跡公園」と共に「日本の歴史公園100選」に選定されている「戸定が丘歴史公園」。西側に江戸川や富士山が眺められる標高約25mの高台に、徳川慶喜の弟で水戸藩最後の藩主・徳川昭武の邸宅「戸定邸」（明治17年建造）が建っています。国指定名勝の庭園を含む2.3ha、かつての敷地の約3分の1が「戸定が丘歴史公園」として公開されています。公園内には戸定邸のほか、徳川昭武と兄・慶喜の資料を展示する「戸定歴史館」があります。

▲戸定邸客間から眺めた庭園

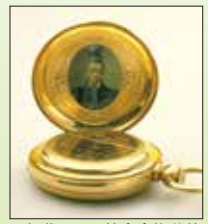
▲戸定歴史館外観

《戸定歴史館 ＋ 戸定邸》

●開館時間／9:30～17:00（最終入館 16:30）
※戸定が丘歴史公園は、9:00から
●休館日／月曜日（祝日の場合その翌日）
年末年始（12月28日から1月4日まで）、
歴史館のみ展示替え期間
●共通入館料／一般320円、高校生・大学生160円
※個別に入館することもできます。中学生以下無料
・戸定歴史館入館料／一般250円、高校生・大学生100円
・戸 定 邸 入 館 料／一般150円、高校生・大学生100円

●問い合わせ／**戸 定 が 丘 歴 史 公 園**
松戸市松戸714-1 TEL.047-362-2050（戸定歴史館）

▲歴史館展示室内



▲初代スイス特命全権公使エメ・アンベールから徳川昭武に贈られた懐中時計

※くわしくはWebサイトをご覧ください。
https://www.city.matsudo.chiba.jp/tojo/

「本土寺」周辺の立ち寄りスポット！

本土寺参道にあるランチのお店

◆食彩　花菖蒲（はなしょうぶ）

本土寺参道の本土寺にほど近い場所にある「食彩花菖蒲」。カウンターとテーブル席、宴会もできるお座敷3部屋があり、ランチ以外にも四季折々のお料理が楽しめる和食のお店です。

▲お店外観

おすすめランチメニュー

★リーズナブルで、とっても美味しい！

●サービスちらしとサラダセット
¥1,000＋消費税
食彩花菖蒲のおすすめランチで、“ちらし寿司”は新鮮な魚介類が盛り沢山で、綺麗な盛り付けと丁寧に作られた具材が、さらに食欲をそそります。

●営業時間／
昼の部　11:00～15:00
（ラストオーダー 14:00）
夜の部　17:00～22:00
（ラストオーダー 21:00）
●定休日／木曜日

●問い合わせ／**食彩 花菖蒲**
松戸市東平賀42-2
TEL.047-712-0903

最寄りの
京葉銀行支店情報
北 小 金 支 店
松戸市小金391-3
TEL.047-348-9001

《日本百選 of ちば》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「日本百選 of ちば」の第8回をご覧ください。

今回、本土寺境内に咲く紫陽花をご紹介しましたが、紫陽花の花色が土壌のPH(酸性度)によって変化するというのは、よく知られています。土壌が酸性だと水に溶けやすくなったアルミニウムが根から吸収され、紫陽花が持つある物質の色素と結合して青色を発色します。さて、青色に発色させる“ある物質”とは何でしょうか？　次の3つの中から正解を1つ選んでください。

①アンモニア
②アントシアニン
③アンモナイト

正解は→②アントシアニン

取材協力・写真提供・撮影協力／日蓮宗本山 長谷山本土寺　松戸市公園緑地課　食彩 花菖蒲

2019.5（次回発行／2019年6月20日）

京葉銀行 BANK

ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行　情報誌　検索

LINEからも「日本百選 of ちば」を配信しています。
LINE@ 京葉銀行 公式アカウント